

今市民ができることは、ミャンマー軍事政権が現在行っている武力弾圧を少しでも自制させるよう働きかけることです。

右下にご自分の住所・氏名（氏名だけでも）を記入して、

ミャンマー大使館（FAX：03-3447-7394）へ自宅やコンビニのFAXで送ってください。
ご協力に心から感謝します。

切り取り線

東京都品川区北品川4-8-26

ミャンマー連邦在日大使館

フラ・ミン駐日大使殿

報道されている通り、貴政府はついに僧侶や市民によるデモに対して武力弾圧に踏み切り、多数の死傷者が発生しています。私は現在行われている市民への発砲や僧侶の拘束、寺院の破壊を即時停止するよう強く求めます。また日本人ジャーナリストが貴国の治安部隊に銃撃され死亡しました。このことにも強く抗議します。

今回のデモの発端は8月の貴国政府による燃料費やバス料金の大幅な値上げによるものと思われませんが、これほど多数の僧侶がデモを先導し、それに呼応する形で10万人を超える市民が参加していった最大の要因は、値上げによって国民生活が一層困窮することに加え、民主化や人権の尊重を望む貴国国民の積年の思いが噴出したからではないでしょうか。

国際社会は、今回のデモが発生する前の時点でも、1,200人近い人々が政治囚として長期にわたって貴国の刑務所に拘禁され、その多くが過酷な拷問に遭っていることを知っています。私は、同じ地球上に住む人間として、暴力的手段を用いずに意見表明をしたり、抗議したことによって殺害されたり、拘禁されて拷問にあたりすること認めるわけにはいきません。

貴政府がアウンサンスーチー氏を始めとするすべての政治囚を解放し、民主勢力や僧侶、少数民族など国民の幅広い層と対話のテーブルにつき、貴国の真の発展と国民融和のために話し合うことを強く要請します。

年 月 日

住所：

氏名：